

(左から) 森本、長島、玄葉、石破の各氏。右端は司会の森聡氏(米カリフォルニア州) 川高顕撮影



アジア太平洋フォーラム

対北朝鮮、新協議を提唱

森本氏「日本の参加欠かせぬ」

【シリコンバレー】永を平和協定に転換するた
 沢毅) 森本敏元防衛相は め南北に米国、中国を加した。 重な検討が必要」と指摘

30日、日本経済新聞社と米フーバー研究所が共催めるとうたっている。森本氏は「日本が関わらない枠組みはあり得ない」と述べ、新たな枠組みやその役割について日米で緊密に協議すべきだと強調した。

具体例として日米に韓国、北朝鮮、中国、ロシアで構成する従来の6カ国協議の参加国に、国連や国際原子力機関(IAEA)を加える案を提唱した。(1面参照)

4月27日の南北首脳会谈で署名した共同宣言には、朝鮮戦争の休戦協定見返りを与えるのか、懐疑した。

長島昭久元防衛副大臣は「3代にわたって追求してきた核とミサイルをそう簡単に手放すとは思えない」と金正恩(キム・ジョンウン)委員長の意思に疑問を呈するとともに、非核化プロセスが長期化する可能性を指摘した。

放棄の約束を反故(ぼ)にしてきたことに触れ、どの局面までいったら見返りを与えるのか、懐疑した。